

IT（情報通信技術）を活用した施設
バーチャルミュージアム（ITを活用した水族館、博物館、美術館等）
サテライトスタジオや情報コンテンツ（街角の端末機）
なども検討します。

住宅施設

ファミリー、単身者など幅広い方々のための賃貸住宅
一部はデザイナーなどのアトリエ（工房）付住宅や入居者ニーズ対応型住宅、IoT関連設備を充実させた住宅の提供を検討します。

広場

建物と視覚的なつながりをもたせた、青空の見えるポケットパーク
しゃんしゃん祭りのセンターステージ
野外コンサート会場
朝市の会場
映像による情報提供の場などの活用を考えています。

駐車場

整備区域内に可能な限りの駐車

車台数を確保するとともに、周辺駐車場の共同利用システムの可能性も検討します。

事業化にあたって

概算事業費

現時点では、区画の整備、建物などに要する経費として約49億円と推計していますが、今後施設の具体化を検討し、整備計画をまとめる段階で、お示しする予定です。

事業システム

中心市街地の求められる姿は、都心居住を回復し、中心市街地が、人々の生活の中で創造的活動の場として再生することにより、結果として商業販売額の上昇をもたらし、そのことが創造的活動や諸機能を誘発して、一層魅力が集積していくことであると考えています。

このため

弥生にぎわい拠点整備を鳥取中心市街地活性化のスタートモデル事業として捉えた推進体制（人と人のつながりと活動）の強化
ソフトを担うTMOの組織強

化と運営基盤の確立
に連動した市民の文化・まちづくり活動の推進
を整えることが重要と考えています。

運営システム

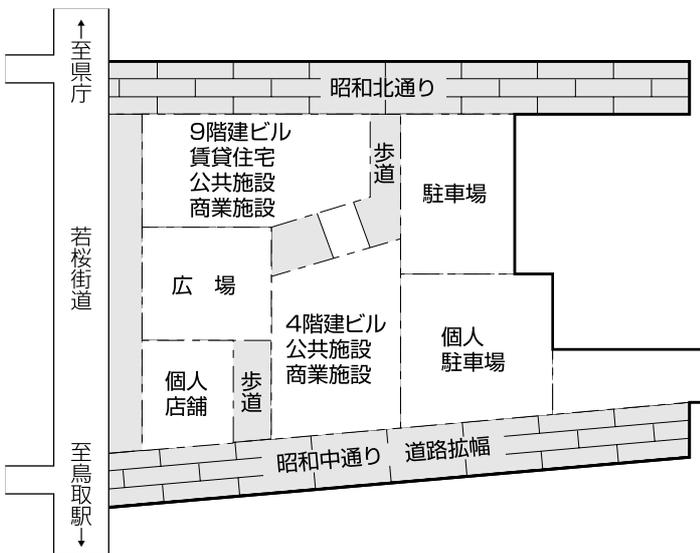
弥生にぎわい拠点は、商業施設、公共施設、住宅さらには広場などの複合機能を持つ施設と考えています。これらは魅力ある複合施設として、一元的な管

理運営が必要と考えられます。その役割は、住宅部門を除きTMOが担うことが求められます。

ご意見を
お寄せください

資料配布場所
市役所1階総合案内所
都市計画課
鳥取市ホームページに

弥生にぎわい拠点の整備構想図



各階のイメージ図

9		
8		
7	住	宅
6		
5		
4	公	共 施 設
3	公	共 施 設
2	商	業 施 設
1	商	業 施 設

意見・提言提出先
郵送/都市計画課
ファックス/20-3048
電子メール/public-c
@city.tottori.tottori.jp
提出期限 10月1日(月)
問い合わせ先 都市計画課
(☎20-3276)

も掲載しています。
(アドレスは表紙下段を参照)